

教 員 個 人 調 書

履 歴 書					
フリガナ 氏 名	マルマル サンカク 〇〇△ 印字可	性別	女	生年月日(年齢)	昭和〇年〇〇日(満〇歳)
国 籍	外国籍の場合のみ		現住所	〒と住所(県から)	
月額基本給	千円				
学 歴					
年 月	事 項				
昭和〇年4月	〇〇大学〇学部〇学科入学				
昭和〇年3月	〇〇大学〇学部〇学科卒業(〇〇学士)				
昭和〇年4月	〇〇大学大学院〇〇学研究科博士課程前期入学 省略せず正式名称で記入				
昭和〇年3月	〇〇大学大学院〇〇学研究科博士課程前期修了(〇〇修士)				
昭和〇年4月	〇〇大学大学院〇〇学研究科博士課程後期入学				
昭和〇年3月	〇〇大学大学院〇〇学研究科博士課程後期単位取得後退学				
学位	〇〇修士 昭和〇年3月 〇〇大学(修第〇〇号)「(論文題目)……………」 学位名称注意				
免許・資格	高等学校教諭2級普通免許状(〇〇・第〇〇号) 省略せず正式名称で記入				
昭和〇年3月	中学校教諭1級普通免許状(〇〇・第〇〇号)				
昭和〇年3月	医師・歯科医師・薬剤師・看護師・教員等の免許・資格(登録番号)				
その他留学籍等	外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学と学位の名称はアルファベットとカタカナを併記し、国名をかならず記載				
職 歴					
年 月	事 項				
昭和〇年4月	〇〇大学非常勤講師(「●●」担当,昭和〇年〇月まで) 担当科目を正確に記入				
昭和〇年4月	〇〇大学〇学部研修員(「●●」担当,昭和〇年3月まで) 研修員、内地留学は職歴				
平成〇年4月	△△大学△△学部非常勤講師(「▲▲」担当,現在に至る 現職は非常勤も「現在に至る」と記入				
平成〇年10月	××大学××学部非常勤講師(「××」担当,平成〇年3月まで)				
平成19年4月	□□大学※※学科講師(「●●」「●●」「●●」「▲▲」「▲▲」「卒業研究」担当、平成〇年3月まで)平成〇年度大学設置申請教員審査認定, 〇〇〇教諭2種免許状課程教員審査認定, 〇〇〇養成課程教員審査認定 過去の教員資格認定があれば「時期」「大学名称」「職位」「担当科目」記入				
平成〇年4月	□□大学※※学科准教授(「●●」「●●」「●●」「▲▲」「▲▲」「卒業研究」担当(現在に至る) 現職は「現在に至る」と記入				
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等					
現在所属している学会	日本〇〇学会, 日本□□会, △△△学会				
年 月	事 項				
	(学会)				
昭和〇年4月	日本〇〇学会会員(現在に至る)				
昭和〇年4月	日本□□学会会員(現在に至る)				
平成〇年4月	△△△学会会員(現在に至る)				
平成〇年6月	日本〇〇学会評議員(現在に至る)				

平成〇年7月 平成〇年10月 平成〇年4月 平成〇年6月 平成15年3月	(社会における活動) 〇〇協議会理事(平成〇年3月まで) 島根県△△委員会委員(平成〇年3月まで) 松江市〇〇会議委員(平成〇年3月まで) 〇〇ネットワーク会議理事(現在に至る) 松江市〇〇検討委員会委員(〇〇に関する△△△を担当, 現在に至る) 審査を受ける教育研究に関する業績は内容を具体的に記入	専攻や研究分野に関する活動	
賞 罰			
年 月	事 項		
平成〇年10月	〇〇〇受賞 (〇〇学会) 賞を出した団体名を記入		
現 在 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
□□大学	准教授	※※学科	「●●」 「●●」 「●●」 「▲▲」 「▲▲」 「卒業研究」 担当
〇〇ネットワーク会議	理事		理事会, 理事懇談会, 経営委員会
開 設 後 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
			担当科目決定時に記入
平成28年 月 日			上記のとおり相違ありません。
氏名			印鑑証明(パスポート)と同じ氏名で自署 ○○ △ 印

教 育 研 究 業 績 書		
平成28年 ○月○日		
氏名 ○○△印		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
科研費 分科レベル名称 3つ以内 実務の知識・経験者としての審査を受ける 場合は「○○に関する実務」と記入	細目を参考 5つ以内 職務内容を表すキーワード5つ以内	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 授業外における学習促進の取り組み 授業内容のインターネット上での公開等 専門職教育機関での教育経験	過去から現在へ	
2 作成した教科書, 教材 1. △△の基礎, 単著, △△出版, 全△△頁 2. ○○学の探求, 共著, ○○書房, 全○○頁	平成○年○月 平成○年○月 共著の場合 全体で200字 程度	200字程度で概要をまとめる (全体概要) 40-50字以内で概要をまとめる (担当部分概要) pp. ○-○, 「第○章-○○○○○ ○○」を執筆. 100字程度で担当部分の概要をまとめる (編著者: ○○○, △△△. 分担執筆者: ○○○, △ △△, ※※※, ×××, □□□) 共著の場合は、本人担当の章・節・題名・掲載 ページを記入するとともに、全著作者の氏名を 著書奥付記載の順に記入して、本人に下線
3 教育上の能力に関する大学等の評価 1. (例) 大学の教員個人評価制度による評価	平成○年度活動 平成○年度活動 平成○年度活動	教育 (20.0) 研究 (15.0) 社会貢献 (10.0) 大学運営 (5.0) 総合加点 (5.0) 総合評価点 (50.0) 所見: 「○○○・・・・」 教育 (20.0) 研究 (15.0) 社会貢献 (10.0) 大学運営 (5.0) 総合加点 (5.0) 総合評価点 (50.0) 所見: 「○○○・・・・」 教育 (20.0) 研究 (15.0) 社会貢献 (10.0) 大学運営 (5.0) 総合加点 (5.0) 総合評価点 (50.0) 所見: 「○○○・・・・」

<p>2. (例) FDセンターによる学生授業評価アンケートの結果 (算出された授業満足度1.0=満点)</p>	<p>平成○年度 平成○年度 平成○年度</p>	<p>「●●」0.77 「●●」0.77 「▲▲」0.77 「●●」0.88 「●●」0.88 「▲▲」0.55 「●●」0.80 「●●」0.80 「▲▲」0.66 「▲▲」について、自主的に学科内で教員相互の評価指導を受け改善点を見出した。 改善の必要な評価とみなされる場合は、その後の対応も記載</p>
<p>4 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>実習生の指導 職能団体の依頼による研修指導 専門的実務の研修 社会教育の公開講座・シンポジウム・講演</p> <p>「研究分野」において「○○に関する実務」と申請していない場合でも、教育業績があれば記入</p>	<p>平成○年～平成○年 平成○年○月○日 平成○年○月○日</p>	<p>○○教諭養成課程学生の実習指導： 平成○年 ○○大学○○学部学生2名, 中学2年生 「●●」科目と中学3年生「●●」科目の実習を指導。 平成○年 △△大学△△学部学生1名, 中学2年生 「▲▲」科目と中学3年生「▲▲」科目の実習を指導。 ○○市教育委員会平成○年度○○講習会 (於,○○センター) において『○○○』3時間を担当。「●●」の実務における○○の問題について解説。対象は○○○など約90名。 実務家としての依頼を受けた職能団体等の専門的講演・研修会について、個別に「年月日」「名称」「題目」「概略」「対象」「規模」を記載</p>
<p>5 その他</p>		
職 務 上 の 実 績 に 関 する 事 項		
事項	年月日	概 要
<p>1 資格, 免許(再掲) ○○○士 (第○○号)</p> <p>医師・歯科医師・薬剤師・看護師・教員等の 免許・資格 (登録番号) で担当科目に関するもの</p>	<p>平成○年○月</p>	<p>資格授与団体名を正確に記載</p>
<p>2 特許等 担当予定科目に関するもの</p>		
<p>3 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>大学との共同研究 担当職務での実績 各上記を裏付ける刊行物等</p>		
<p>4 その他 実務家としての卓越性に関する評価・推薦等 論文の引用実績</p>		<p>資格の証明書・雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付する</p>

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1. △△の基礎 (再掲) 教科書で記載したものは (再掲) とする	単著	平成〇年〇月	△△出版 全△△頁	200字程度で概要をまとめる
2. ○〇学の探求 (再掲)	共著	平成〇年〇月	○〇書房 全○〇頁	(全体概要) 40-50字以内で概要をまとめる (担当部分概要) pp. ○-○. 「第○章-○○○○ ○○○」を執筆. 100字程度で担当部分の概要を まとめる (編著者: ○○○, △△△. 分担執筆者: ○○○, △△△, ※※※, ×××, □□□) 共著の場合は, 本人担当の章・節・題名・掲載 ページを記入するとともに, 全著作者の氏名を著 書奥付記載の順に記入して, 本人に下線
(学術論文) 1. ○○○ (修士論文)	単著	昭和〇年3月	○〇大学	200字程度で概要をまとめる
2. ○○○○ (査読付) 査読論文は, 題目の後 に「(査読付)」 記載	単著	昭和〇年〇月	学術雑誌名, Vol. ○, No○, pp. ○-○.	200字程度で概要をまとめる
3. △△△ (査読付)	共著	平成〇年〇月	学術雑誌名, Vol. ○, No○, pp. ○-○.	(全体概要) 150字程度で概要をまとめる (担当部分概要) 論文作成過程における担当部分 の概要をまとめる (著者: ○○○, △△△, ※※※, ×××, □□□) 共著の場合は, 全著作者の氏名を論文記載の順に 記入して, 本人に下線
(その他) 1. ○○○	—	平成〇年〇月 〇日	○○学会大会論文集, pp. ○-○.	200字程度で概要をまとめる (連名発表: ,○○○, △△△, ※※※, ×××, □ □□) (単独発表) 連携発表 (本人下線) を記載
(著書) (学術論文) (その他)の項目に区分して発表順 に列記する 紀要論文は, 査読付かどうか 確認する 報告書, 依頼原稿等は「(そ の他)」に入れて記載				
美術・音楽関係の研究業績と して作品を提出する場合は, 単独で項目を作り, 発表順に 列記する。 作品集を別途1部提出。ただ し審査後の返却なし。				